

おばた

小幡 健太郎

民主クラブ(立憲民主党・国民民主党)

区政レポート vol.6

会いに行きます!



おばけん政策!

- 1 「生きる力」を育む教育を!**
児童・生徒の学力向上を進めます
- 2 子育てしやすさNo.1の区に!**
今度こそ待機児童ゼロを実現します
- 3 災害に強い街づくりを!**
現実に即した防災訓練を実施します
- 4 風通しの良い板橋区に!**
積極的な情報公開を行います
- 5 行政のオンライン化促進!**
行政サービスのIT化を更に進めます

新型コロナ対策、なんでもご相談ください!

新型コロナウイルス感染症(covid-19)による影響はまだまだ終息する気配がありません。板橋区では4月から既に4度の補正予算を組み、新型コロナ対策を行っております。しかし、対策が十分であるとは言えません。必要な方へ適切な支援の手が向けられるよう、提案してまいります。国、都、区から支援策が出ております。申請の仕方、自分が対象かどうかなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。6月の一般質問ではコロナ対策としての区内事業者の支援に加え、聴覚障害者支援など、区政の現状や対策を質しました。引き続き、粘り強く訴え続けてまいります。

これからも「会いに行きます!」のキャッチフレーズに恥じないよう、地に足をつけて活動してまいります。今後とも何卒よろしくお願い致します。



プロフィール

- 1977年(昭和52年)生まれ、板橋区加賀在住。IT企業に10年間勤めた後に退職。代議士秘書を経て、板橋の暮らしをより良くするために政治家を志す。地域のPTA、おやじの会、消防団、まちづくり協議会、板橋宿不動通り商店会などに参加し、積極的に地域活動に取り組む。
- 妻、息子(14歳)、娘(9歳)の4人家族。
- 石川県金沢市出身。星稜高校、筑波大学第一学群自然科学類物理学専攻卒。武蔵野音楽大学別科修了(声楽)



趣味：声楽、男声合唱、ピアノ、読書、弓道、サイクリング
やりたいこと：区民の皆さん全員に会いに行くこと
板橋の好きな場所：石神井川の桜並木

所属

- 板橋区議会**
- 常任委員会 企画総務委員会
調査内容：政策の総合的な企画や調整及び評価、財政、広聴及び広報、ITの推進及び情報処理、情報公開及び個人情報保護、公文書等の収集・保存及び公開、男女平等参画の推進、営繕、職員進退及び身分、財産及び契約、区税、防災及び危機管理、公有財産・物品の管理運営、選挙管理、監査事務、他の委員会に属さないこと
 - 特別委員会 被害対策調査特別委員会
会調査内容：災害対策に関する調査

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 板橋区立金沢小学校 PTA会長 | 板橋区混声合唱団 団員 |
| 板橋区立金沢小学校 おやじの会 | 板橋宿不動通り商店街青年部 会員 |
| 板橋消防団 第一分団 副分団長 | 声楽家 加茂下稔 門下生 |
| 加賀まちづくり協議会 会員 | 板橋茨城県人会 幹事 |
| 板橋市川県人会 役員 | NPO法人 ピースオブファミリア 監事 |
| 板橋法人会 会員 | NPO法人政策学校一新塾22期生 |
| 板橋法人会青年部 会員 | 小沢一郎政治塾11期生 幹事長 |
| 加賀五四自治会 防災副部長 | 市民団体 kabukifilm.com 所属 |

① 新型コロナウイルス感染症対策（アーティスト支援について）

実現!!

おばた：非常に大きな影響を受けた分野の一つに文化、芸術分野がある。アート分野に対する支援が必要である。板橋区として区内在住のアーティストに対してどのような支援をおこなうのか？

区長：文化・国際交流財団では区にゆかりのあるアーティスト情報を収集しPRする取り組みを始めた。経済的支援は難しいが、活動機会の拡充につなげる支援を図る。

その後→ 「区内アーティスト支援のための動画配信補助事業」を開始！！
youtube への配信に対して 10 万円の出演料支払い！

② 新型コロナウイルス感染症対策（商店街支援について）

実現!!

おばた：活力あるまちづくりのために、さらなる拡充を求めるが見解は？

区長：区内店舗「応援&助け合い」特設ページを公開し、利用を促している。また、区内事業者の支援策の拡充について、検討を進める。

その後→ キャッシュレス決済ポイント還元事業 決定！！
区内店舗で PayPay キャッシュレス決済を行うことで、最大 20% ポイント還元を実施
(10/1~11/30 まで)

③ GIGA スクール構想について（小中学校タブレット導入）

指導体制
が課題

おばた：今年度中に区内すべての小中学校に一人一台のタブレット端末が導入される。ハードをそろえることが目的ではなく、その中身が重要。ICT 機器を用いてどのような教育を行うのか。また、教員へのサポート体制はどのようにするのか。

教育長：ICT 機器を通じて楽しくわかりやすい授業を展開していく。各校に ICT 支援員を配置する。また各校 1 名以上の教員を ICT 推進リーダーとして指定し、研修を実施し、教員を育成していく。

④ 聴覚障害児童への支援について

至急改善が
必要

おばた：現在板橋区には中学生用の聴覚障害児向けの特別支援学級がない。障害をもつお子さんは他区の中学に進学し、特別支援学習を行っている。他区の中学に支援を任せている状況は至急改善すべき。小学校の難聴学級に中学生も通えるようにしてはどうか。

教育長：教育委員会として、聴覚障害のある生徒への支援が十分でないことは認識している。小画工での中学生への指導は、教員の確保や保有する教員免許が課題。中学校への設置については工事費、運営費など、課題が山積。様々なニーズに対応できるよう研究していく。

ご連絡はこちらまで!!

おばた健太郎事務所

〒173-0004
東京都板橋区板橋2-64-10板橋新生ビル301
TEL : 03-6325-8147
FAX : 03-6385-7640
MAIL : info@obaken.com
URL : http://obaken.com/
Twitter : @obaken20j
FB : https://www.facebook.com/obaken1977

